



早いもので、あと数日で今年も終わってしまいます。保護者の皆様から幼稚園の教育活動にご理解とご協力、ご支援をいただき無事 2 学期最後の今日を終えることができました。ありがとうございました。

2 学期は、運動会・京幼ふれあいまつりと様々な行事がありました。子どもたちは、その行事を経験することで、不安を抱えながらも友だちや先生と一緒に話し合い頑張ること・やりとげる事ができ、保護者の皆様から活動の一つ一つをほめてもらい認めてもらい、満足感と自信につながることができました。本当にありがとうございました。

さて、3 学期は一年の締めくくりになります。

3 歳児は自分の思いを出しながら友だちや担任と一緒に色々なごっこ遊びを楽しんでいきます。4 歳児は気の合う友だちと思いを出し合いながら自分たちなりに遊びを進めていきます。5 歳児は、生活や活動の見通しをもち、友だちと相談したり、協力したりして、色々な活動に取り組んでいきます。

有能感と自尊感情



冬休み期間は、子どもたちが普段体験できない、いろいろな楽しいことがあります。おうちの人にとっては忙しい年末年始を迎えますが、忙しさでお子さんに目が届きにくくなることもあると思います。でも、親子で過ごせる良い機会です。夏休み前の園だよりで「つよくてやさしいスキンシップ」ということで、いっぱい愛情をかけてもらった子は強くてやさしい素敵の人に育ちますとお知らせしました。大好きな家族と一緒にいると甘えやわがママを言うことが多くなります。家族のみなさんだから甘えやわがママを言います。他人や、隣の人には言いません。心の底から信じたいと思っている人だけに、思いっきり甘えたりわがママを言ったりして、自分は愛されているということを確認します。家族の皆さんから愛されているという確信から、安心して生きていく意欲や力のもとになります。その意欲や力は「一人でやってみよう」「頑張ってみよう」という自立につながります。こうした自立が、もっともっと難しい事もやってみようという『有能感』につながります。また、できる事で自分に自信がつき『自尊感情』につながります。5 歳児は 4 月から小学生です。小学校に行くと、今までとは違う学習という新たな取組が出てきます。難しいけどやってみようという気持ちにつなげるためにも『有能感』『自尊感情』は大切です。冬休みの間、甘えやわがママを聞いてあげながら、出来るところを誉めてあげてみてください。

冬休みの生活について



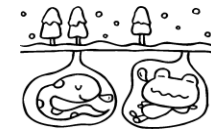
冬休み中は、クリスマス・大晦日・お正月など様々な体験ができる時です。家族の一員としてお手伝いをしたり、地域の行事に参加したり、一緒に過ごしたり、楽しいことがたくさんあると思います。そのためにも健康で楽しいお休みが過ごせるように心がけていきましょう。

健康な生活について

ほけんだよりでお知らせしました。ご覧になり気をつけていただきたいと思います。

* 食事中はテレビを消して、家族で会話をしながら食事をするようにしましょう。

* お正月ならではの伝統的な遊び（かるた・すごろく・トランプなど）を楽しみ、家族で楽しいひとときを過ごしましょう。



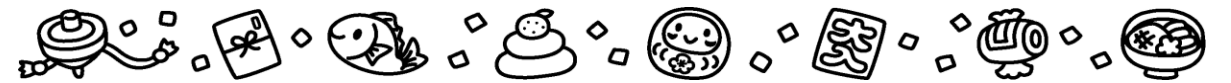
安全な生活について

☆ 園の方でも子どもたちに指導していますが、幼い子どもたちが関係した事件が後を絶たず心配です。知らない人にはついて行かない、子どもが一人で遊びに行かないように目を離さない、遊びに行く時には、一緒についていくなどのご配慮を引き続きお願いいたします。

☆ 道路への飛び出しや除雪車の前後などは危険です。近づかないようにしましょう。

☆ ストープの前で遊ばないなど、やけどをしないように注意しましょう。

☆ スーパー等で、走り回っているお子さんを見かける事があります。また、好きな商品を手にも持ち、出口に向かうお子さんを見ることもあります。柵や人にぶつかって転んだりしても危ないです。しっかりと手をつないで、買い物をする、一人にしないなど気をつけましょう。



冬休み中の大人は忙しく、子どもに目が届きにくくなります。事故には十分に気をつけ、どうぞよいお正月をお迎えください。

お休み中お子さんの事でなにかありましたら、幼稚園に連絡をください。なお、29日から1月3日まで幼稚園には誰もおりませんので、園長又は副園長までお願いいたします。

- ・ 園長 小内 清美
- ・ 副園長 遠藤 和子

